

放課後等デイサービス 事業所における自己評価表(公表)

公表: 令和4年2月1日(火)

事業所名: あすなろクラブ

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
指導・体制整備	1 利用員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		集約参加を基本とし、そこを目指すための確保体制、個別支援も行っている。		
	2 職員の配置数は適切であるか	2	4		少人数配置だからこそ、お子さんの力を引き出し、自立を目指す支援の工夫を日々考え行っていること大切にした。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4				
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	4	1		目標設定とそのため支援の工夫、継続的振り返りの時間をもう少し増やしていきたい。	
	5 保護者等向け研修会を活用する場によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3			外部評価を行っていただく機会を作っていく必要がある。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			お子さんの正しい観察、正しい算定で行えるようスキルアップは無い、研修の機会を設けたい。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1			
	10 子どもの適応行動の状況を調べるために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5				
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5				
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2		固定化のルーティンで安心感を保ちながら、支援を進めることも大切に考えている。	生活年齢に応じた活動の工夫を創意工夫していく必要がある。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめやかに設定して支援しているか	5				
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				
	15 提供開始前に職員間で必ず打合せし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2		支援日誌に必要な情報を記入できるよう、書式の工夫を施し、コミュニケーションツールとしてメモ交換板も活用している。	支援計画から、活動内容に落とし込んだ明確な目録+支援内容を具体的に持って、徹底共有する必要がある。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	6		〃	〃	
	17 日々の支援に際して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1			
	19 ガイドラインの前期の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4				
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した者もささいな者が参加しているか	4				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の把握等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5				
関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連携を築いているか	2	1		医療ケアが必要なお子さんの受け入れは現在ありません。	
	23 放学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6		同事業所内、児童発達支援からの応募が増えている。職員間の情報共有はしやすい状況にある。	児童発達支援と放課後等デイでは、視点が変わることある。児童での読み書きがなかったことにならないよう放課後の支援を考えたい。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4		同事業所の中に就労施設もあり、引継ぎしやすい状況にある。	小中高と生活年齢を意識した支援を行う。高等部に向けて放課後等デイからの移行も意識しながら、必要な支援を行いたい。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3				
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5		コロナ禍も含めて厳しい状況にある。		
	27 地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	2				
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		コミュニケーションを取る際に、お父さん(特性)によってお伝えする相手と意識し、送付カードでお伝えしないようにしている。	職員ごと意識が大きくならないよう、現場に熟知している必要がある。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	3				
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				
保護者への説明責任等	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		コロナ禍により、母会会が開催できていない。		
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		現場責任者が月のおたよりを発行している。		
	35 個人情報に十分注意しているか	6				
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	3	2			
	非常災害の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			
		39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1		
		40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			
		41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づいた対応がされているか		4	1			
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所で共有しているか	6		その日のうちに当事者に報告書を作成してもらい、会報での共有と送付について話し合う機会を定期的に設けている。増え続けることが無い場合でも、1周目中には文書版で共有を促している。			